
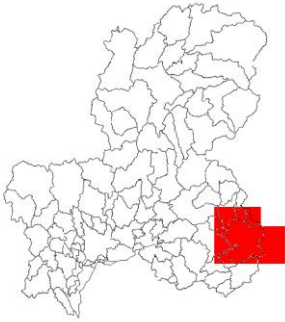


イナコメグサ	<i>Euphrasia multifolia</i> Wettst. var. <i>inaensis</i> Hid.Takah.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I A類)		ゴマノハグサ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	茎は直立してあまり分枝せず、高さ25-50cmになる1年草。葉は長楕円形で、基部は楔形に狭まり、鋸歯は3-4対あるが、鋭頭~やや鈍頭。花期は8-9月。花冠は8-10mmで白色、下唇の中央部に黄斑がある。	
生態的特徴	低山地の湿地に生える。	
分布状況	長野県伊那谷付近に分布する。県内では県南の東部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	
		

文責:佐藤和良